

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 5 区分
 【発行日】平成 20 年 6 月 26 日 (2008.6.26)

【公表番号】特表 2008-500468 (P2008-500468A)
 【公表日】平成 20 年 1 月 10 日 (2008.1.10)
 【年通号数】公開・登録公報 2008-001
 【出願番号】特願 2007-527280 (P2007-527280)
 【国際特許分類】

D 0 1 D 4/02 (2006.01)

D 0 1 D 5/28 (2006.01)

【F I】

D 0 1 D 4/02

D 0 1 D 5/28

【手続補正書】
 【提出日】平成 20 年 5 月 7 日 (2008.5.7)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

ダイ内に位置するオリフィスにポリマー溶融ストリームを通過させることであって、前記オリフィスが、入口、出口、および前記入口から前記出口まで延在する内部表面を含み、前記オリフィスが半双曲線状 (s e m i - h y p e r b o l i c) の収束オリフィスを含み、前記ポリマー溶融ストリームが前記入口でオリフィスに入り、前記出口でオリフィスから出ることと、

前記ポリマー溶融ストリームとは別に、潤滑剤を前記オリフィスに配送することであって、前記潤滑剤が前記オリフィスの入口で導入されることと、

前記ポリマー溶融ストリームが前記オリフィスの出口を出た後、前記ポリマー溶融ストリームを含む繊維を捕集することと、
 を含む高分子繊維の製造方法。

【請求項 2】

前記オリフィスが 0.5 mm^2 の断面積を有する出口を含み、そして前記ポリマー溶融ストリームが 30 メガパスカル以下の圧力で前記オリフィスの入口に配送されるときに、前記ポリマー溶融ストリームが、10 グラム / 分以上の質量流量 速度 で前記オリフィスを通過する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記オリフィスの入口に入る前記ポリマー溶融ストリームの平均温度が、前記ポリマー溶融ストリームの溶融加工温度よりも 10 以下の温度だけ高い範囲内である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記ポリマー溶融ストリームが、多相ポリマー溶融ストリームを含む、請求項 1 に記載の方法。